

新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みについて

1 校内での取組み



①遠隔検温器の設置

受付前に遠隔検温器を設置し、来校者全ての検温を記録しています。高温者やマスク未着用者が検出されると、アナウンスが流れます。37.3度以上の方は来校をご遠慮いただきます。また、附属臨床施設にも遠隔検温器を設置しています。

②アルコール消毒液の設置

各教室、ロビー、エレベーター前を中心に、アルコール消毒液を設置しています。来校者には手指消毒をお願いしています。

③教職員、全校生徒のマスク着用

感染症予防対策として、マスクの着用を義務付けています。マスク未着用者が遠隔検温器前を通ると「マスクを着用してください」とアナウンスが流れます。お持ちでない方にはマスクをお渡しします。原則お客様にもマスク着用をお願いしています。

④消毒清掃

掃除業者が毎朝校内の消毒をしています。教職員が午前と午後に1回ずつ、校内の手すりやドアノブの消毒をしています。

⑤飛沫拡散防止シート、アクリルボードの設置

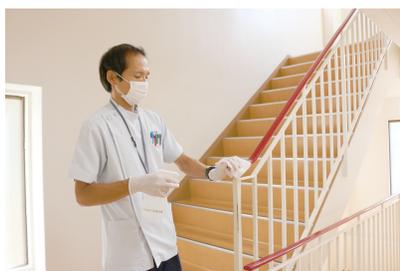
受付窓口、教職員室、図書館、附属臨床施設に飛沫拡散防止シートやパーテーションを設置し、感染予防対策を行っています。ロビーや学生サロンではアクリルボードを設置しています。

⑥ソーシャルディスタンスの確保

イベントにおいて、席の間隔を離すなど、来校者のソーシャルディスタンスを確保する取り組みを行っています。また、学生サロンなど、学生の共有スペースが密にならないように席数を減らし、入室人数制限を設けています。

⑦啓発チラシの掲示

厚生労働省からの新型コロナウイルスに関するお知らせや、予防方法、啓発チラシを校内に掲示しています。



2 授業に関する取り組み

①実技

2つの教室の間仕切りを撤去し、広い空間で換気しながら使用しています。各教室に消毒液を設置しています。授業前後は、日直の学生が消毒を行います。臨床実習の際には、**フェイスシールド**を使用します。

②座学

教室全てにスピーカーを設置し、ソーシャルディスタンスを確保した上でも授業内容を聞き取れるように工夫しています。授業前後は、日直の学生が消毒を行います。

